



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

東北予選 松島チサンカントリークラブ 松島コース（宮城） 予選大会結果のお知らせ

2017年4月4日（月）松島チサンカントリークラブ 松島コース(宮城県宮城郡松島町)で行いました
「PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会」東北予選の結果は、下記の通りとなりました。

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 東北予選>

- ◇2017年4月4日（火） ◇天候：晴れ
- ◇宮城・松島チサン C C 松島 C（15－17歳男子6735ヤード、パー72ほかカテゴリー別）
- ◇出場77人

<東北予選 概況>

15－17歳の部男子は、日本ゴルフ協会ナショナルチーム入りしている中島啓太（東京・代々木高2年）が、風と速いグリーンに各選手が苦しむ中、ただ一人1アンダーパーの1アンダー71をマークして、2位若有宣彦（新潟・開志国際高3年）に5打差をつけて、1位で東日本決勝大会（4月22、23日、茨城・美浦GC）に進んだ。同女子は大須賀望（宮城・東北高1年）が10オーバー82で1位になった。13－14歳の部男子は豊田真太郎（熊本・玉名中1年）が11オーバー83でトップ通過。同女子は二宮佳凜（かりん、群馬・笠懸中3年）が9オーバー81で1位となり、9－10歳の部女子で2位になった妹の佳音（かのん、群馬・笠懸北小5年）とともに姉妹で東日本決勝大会に進んだ。

<東北予選 予選結果>

東日本決勝大会進出者は以下の通り。

▽15－17歳男子

- 【1位】中島啓太（東京・代々木高2年）＝71
- 【2位】若有宣彦（新潟・開志国際高3年）＝76
- 【3位】倉林太聖（宮城・東北高1年）＝78
- 【4位】戸松 仁（新潟・新潟産大付高3年）＝81
- 【5位】五十嵐瑠亜（新潟・開志国際高3年）＝82
- 【6位】中村 凜（山形・日大山形高1年）＝82

▽同女子

- 【1位】大須賀望（宮城・東北高1年）＝82
- 【2位】中村珠莉香（神奈川・法政第二高2年）＝83
- 【3位】薄井香澄（栃木・宇都宮文星女高2年）＝87

▽13－14歳男子

- 【1位】豊田真太郎（熊本・玉名中1年）＝83
- 【2位】原田竜成（宮城・成田中2年）＝85
- 【3位】薄井悠真（福島・白河第二中3年）＝85

▽同女子

- 【1位】二宮佳凜（群馬・笠懸中3年）＝81
- 【2位】阿曽帆夏（山形・酒田第三中2年）＝82
- 【3位】三浦琴未（宮城・鹿島台中3年）＝87
- 【4位】秋葉怜奈（山形・天童第三中1年）＝89

▽11－12歳男子

【1位】工藤颯太（山形・神町小6年）＝84

【2位】平野誠一（埼玉・行田中1年）＝90

【3位】井出太陽（長野・川上中1年）＝93

▽同女子

【1位】倉林紅（宮城・東向陽台小6年）＝82

【2位】芳賀幸瞳（山形・陵東中1年）＝88

【3位】渡辺そ代加（宮城・仙台白百合学園小6年）＝97

▽9－10歳男子

【1位】山本大勢（福岡・西小倉小4年）＝87

【2位】橋詰海斗（新潟・栖吉小5年）＝94

【3位】桜庭祿碩（青森・是川小4年）＝96

▽同女子

【1位】櫻井 萌（宮城・吉成小5年）＝82

【2位】二宮佳音（群馬・笠懸北小5年）＝88

▽7－8歳男子、同女子

決勝進出者なし。

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる。

東北予選 ハイライト1 ◇15－17歳の部男子◇宮城・松島チサンCC松島C（6735ヤード、パー72）

中島啓太（東京・代々木高2年）が日本ゴルフ協会ナショナルチームの力を見せた。前半は2オーバーだったが、後半に入って13番パー5（479ヤード）で残り210ヤードを4番アイアンで7メートルに2オンしてバーディーを奪い、16番では6メートルを入れて2つ目。最終18番（449ヤード）では「カート道に当たって前に行ったと思うんですが、残り70ヤードだった」という第2打を4メートルにつけてバーディーと、後半ボギーなしの3アンダーで回り、1アンダー71をマーク。1位で東日本決勝大会（4月22、23日、茨城・美浦GC）に進出した。ぶっつけ本番でコースを知らず「本当なら刻むところがたくさんあったと思うけどドライバーの調子がよかった」と振り返る。ただ「1ホールだけ3番アイアンで刻んだ5番で右OBだった」と苦笑いした。この予選には初めて出場した。「周りの友達がいっぱい出ているのでやってみよう。試合にはなるべく多く出たいんです」という。「ティーショットが安定しているので、東日本決勝大会では持ち味のボギーが少ないゴルフができれば」と、中学3年からナショナルチーム入りしている逸材が、IMG A世界ジュニア出場を目指す。

東北予選 ハイライト2 ◇15－17歳の部女子◇宮城・松島チサンCC松島C（6178ヤード、パー72）

地元宮城県の東北高の新1年生、大須賀望が10オーバー82ながらも、トップで東日本決勝大会（4月22、23日、茨城・美浦GC）に進んだ。インスタートの10番でいきなり30センチにつけるバーディーを奪ったが、続く11番で「セカンドをOBにしてトリプルにしても波に乗れなかった」という。それでも、15番で3メートルを入れて踏ん張り、強風と速いグリーンで各選手がスコアを崩す中では粘りを見せた。「今日はパットが良かった。前半11パット、後半15パット。アプローチが悪くて後半はパーをなかなか取れなかったけど、パターに救われた感じです」と、振り返った。予選は3回目で、過去2回はカウントバックで2位となって決勝大会に進んでいる。今回は念願のメダリストになり「美浦GCはバンカーが多くて苦手なんですけど、バンカーに入れないようにショットをよくしていきたい」と、対策を練っていた。

東北予選 ハイライト3 ◇13－14歳の部女子◇宮城・松島チサンCC松島C（6178ヤード、パー72）

二宮佳凜（かりん、群馬・笠懸中3年）が1位となり、9－10歳の部女子で2位になった妹の佳音（かのん、群馬・笠懸北小5年）と、第1目標の「姉妹で東日本決勝大会」を達成した。9オーバー81のスコアには「練習ラウンド2回よりもよかったのでうれしいです」と笑顔を見せる。「グリーンは奥につけるとだめなので、手前から行く攻め方がうまいいった」という。練習ラウンドで「右にOBがあって苦手だった」という5番で50センチにつけ、この日唯一のバーディーを取った。予選出場は2回目で、今回は「妹にも世界ジュニアのチャンスがあるぐらいうまくなったので、2人で出場した」という。佳音は地元の群馬県の大会に優勝するなどメキメキ上達していて「今回は親からは私の方が心配されたので、いい成績を残せてよかった」と、姉の意地を見せた形。妹は「2人で世界ジュニアに出たい」といい、姉も「パターが苦手なのでもっと練習して2で行けるように頑張りたい」と、次の目標は「姉妹で世界へ」になった。



写真

左上 = 15-17歳男子 中島啓太

右上 = 15-17歳女子 大須賀望

左下 = 13-14歳女子 二宮佳凜

右下 = 二宮佳凜（左）と9-10歳の部
女子2位の妹・佳音

©IJGA2017